

特定非営利活動法人日本栄養改善学会NPO第15期5月度理事会議事録

I. 日 時：平成30年5月27日（日）13:15～16:40

II. 場 所：東京都港区 建築会館301会議室

III. 出席者数：理事総数19名 出席理事数19名

IV. 出席理事氏名：武見ゆかり（理事長・議長）、南久則（副理事長）、赤松利恵、上西一弘、川島由起子、菊地和美、木村典代、小切間美保、酒井徹、下浦佳之、瀧本秀美、塚原丘美、名和田清子、村山伸子（第65回学術総会会長）、由田克士、川久保清（委任出席）、佐藤伸（委任出席）、鈴木公（委任出席）、山本浩範（委任出席）

出席監事氏名：林静子

その他の出席者：竹内弘幸（第66回学術総会会長）

V. 議事録署名人の選任に関する事項

議長より本日の議事をまとめるに当たり、議事録署名人2名を選任することを諮り、小切間美保理事及び酒井徹理事を選任することを全員異議なく承認した。

VI. 審議事項 ※（ ）は提案説明者

【I. 庶務関連事項】

1. 会員の動向（上西庶務担当理事）
2. 次期評議員候補者の推薦（上西庶務担当理事）
3. 名誉会員及び終身会員候補者の推薦（武見理事長）
4. 学術総会の運営に関する申し合わせの改定（上西庶務担当理事）
5. 認定NPO法人の検討（上西庶務担当理事）
6. 平成30年度通常総会・評議員会の準備（上西庶務担当理事）
7. 今後の会議予定（上西庶務担当理事）

【II. 財務関連事項】

1. NPO第15期経費執行状況と見込決算（塚原財務担当理事）

【III. 編集関連事項】

1. 栄養学雑誌編集委員会報告（由田編集担当理事）

【IV. 学術関連事項】

1. NPO第15期事業執行状況（赤松学術担当理事）
2. 平成30年度功労賞・学会賞・奨励賞（武見理事長）
3. 学会賞等選考基準の見直し（川島理事）
4. 第65回学術総会準備状況（村山第65回学術総会会長）
5. 第66回学術総会準備状況（竹内第66回学術総会会長）
6. 第67回学術総会会長候補者の推薦（菊地理事）
7. 「健康な食事・食環境」推進事業（赤松学術担当理事）
8. 食環境整備推進委員会の設置（武見理事長）
9. 日本給食経営管理学会共催事業「食品データベースに関する連絡・検討会」（仮称）の設置（由田理事）
10. 関連学協会等との連携（回覧資料）

- (1) 文部科学省大学設置・学校法人審議会（大学設置分科会）栄養学専門委員会の設置（武見理事長）
- (2) 生活科学系コンソーシアム事業（第11回総会・第24回会議）への参加
- (3) 特定非営利活動法人国際生命科学研究機構（ILSI Japan）「健康な食事研究会アドバイザー委員・第8回栄養とエイジング国際会議プログラム委員」の就任
- (4) 日本アミノ酸学会「第5回産官学連携シンポジウム」協賛
- (5) 公益社団法人日本栄養士会「栄養の日・栄養週間2018」後援
- (6) 「ICoFF2019、ICPH2019、ISNFF2019合同国際会議」後援
- (7) 一般社団法人日本摂食障害協会「世界摂食障害アクションデイ2018」後援
- (8) 第三回国際シンポジウム「コメとグローバルヘルス」セカンド・サーキュラー
- (9) 国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所「第8回アジア栄養ネットワークシンポジウム」事業報告
- (10) 独立行政法人日本学術振興会「第15回（平成30年度）日本学術振興会賞受賞候補者の推薦」周知協力
- (11) 一般財団法人東京顕微鏡院「遠山椿吉記念 食と環境の科学賞」周知協力
- (12) 公益財団法人ロツテ財団「食と健康の分野における若手研究者対象の研究助成公募」周知協力

【V. 広報関連事項】

1. ホームページ事業（酒井広報担当理事）
2. JSNDメールニュース事業（酒井広報担当理事）

【VI. 国際関連事項】

1. 栄養学雑誌サプリメント「日本と海外の学校給食」（村山国際担当理事）
2. 栄養改善事業の国際展開プラットフォーム（NJPPP）事業（村山国際担当理事）
3. IUNS-ICN2021（村山国際担当理事）

【VII. 厚生労働省委託事業】

1. 平成30年度管理栄養士専門分野別人材育成事業 教育養成領域での人材育成（武見理事長）

【VIII. 支部会活動】

1. 支部長会議の開催準備（武見理事長）
2. 支部会活動報告
 - (1) 北海道支部会（菊地理事）
 - (2) 東北支部会（書面報告）
 - (3) 関東・甲信越支部会（木村理事）
 - (4) 東海支部会（塚原理事・東海支部長）
 - (5) 近畿支部会（由田理事・近畿支部長）
 - (6) 中国支部会（名和田理事）
 - (7) 四国支部会（酒井理事・四国支部長）
 - (8) 九州・沖縄支部会（南副理事長）

【IX. NPO第16期事業計画案及び予算案】

1. NPO第16期事業計画案及び予算案の骨子（武見理事長）

VII. 議事の経過の概要及び議決の結果

【Ⅰ．庶務関連事項】

1. 会員の動向・・・5月14日現在のNP0第15期支部別・都道府県別会員数一覧、5月22日現在の協力会員名簿、5月22日現在の支部会別評議員名簿が配布された。NP0第15期の会員数は前年度末を下回る見込であること、3月30日付で大塚製薬株式会社が協力会員から退会し、現在の登録数は20社（20口）となったこと、評議員は、3月31日付で勝田新一郎、末田香里、高橋保子、那須恵子、本田佳子、吉川賢太郎の6名が退会し、現在は410名であることが報告され、これを承認した。
2. 次期評議員候補者の推薦・・・候補者の条件に合致する適任者の推薦について、尽力することを合意した。
3. 名誉会員及び終身会員候補者の推薦・・・4月21日の名誉会員・終身会員推薦委員会の結果、名誉会員候補者として岡純氏、志村二三夫氏の2名を、終身会員候補者として足立香代子氏、大木和子氏、佐藤加代子氏、津田とみ氏、中尾俊之氏、福井富穂氏、細川優氏の7名を、評議員会・通常総会に推薦することを承認した。なお、名誉会員・終身会員候補者の資格該当者で、候補者となることを確認中の者が3名あり、承諾を得られれば次回理事会に推挙することが補足された。
4. 学術総会の運営に関する申し合わせの改定・・・学術総会の演題登録資格（連名者の会員資格）を改定した原案を承認した。承認された申し合わせは別紙のとおりである。
5. 認定NP0法人の検討・・・本日、午前中に開催したWG（庶務、財務を担当する理事で組織、リーダーは南副理事長）で、本学会の活動に合った法人格について検討したことが報告された。前回理事会では認定NP0法人（NP0法人のうち、その組織運営および事業活動が適正であり、一定の基準に適合したものととして所轄庁の認定を受けたNP0法人）を目指すことが承認されたが、社会的な認知度などから、公益社団法人が話題に上がり、それらを含めて検討したいことが提案され、法人格のあり方検討WGに改称し、検討することを承認した。
なお、認定NP0法人の認定基準の一つとして、パブリック・サポート・テスト（PST）の基準（3,000円以上の寄附者の数が年平均100人以上であること）の適合がある。本学会はこの基準を満たすものの、従来の会費の当該年度にあわせた寄附金の入金処理を、入金時の年度で処理する方向に切り替えることが説明され、これを了承した。
6. 平成30年度通常総会・評議員会の準備・・・原案に、「法人格のあり方」の議事を追加し、これを承認した。総会資料作成のため担当議題（支部会含む）の資料は7月10日必着で事務局に提出することを確認した。
7. 今後の会議予定・・・今後の会議予定が配布された。8月度理事会は厚生労働省委託事業の関連会議との調整で、開催時間が未定である旨、事務局から報告があった。移手段の確保が難しい時期であることに配慮し、開催時間が決まり次第速やかに連絡することを確認した。

〔総会・評議員会〕 9月3日

〔理事会・監事会〕 8月18日

〔役付理事打合せ〕 7月29日

【Ⅱ．財務関連事項】

1. NP0第15期経費執行状況と見込決算・・・5月21日現在の経費執行状況（活動計算書、事業別損益計算の状況、貸借対照表、収支計算内訳書・年度末見込計算付き）が配付され、当期末見

込収支差額は280万円程度の収入超過（予算は1,000万円の支出超過）となることが報告され、これを了承した。寄附金の会計処理は今期決算から対応する予定であることが補足され、理事長、副理事長、財務担当理事に一任した。予算との相違がある収支科目、収支計算書（参考資料）の事業費と管理費の総額について指摘があり、これに対応して資料を整備することとした。

【Ⅲ. 編集関連事項】

1. 栄養学雑誌編集委員会報告・・・5月18日現在の論文受付、審査、掲載の状況が配布資料により報告され、これを了承した。

「実践活動報告」区分の著者（実践活動現場の会員）の所属施設等の状況や研究内容に考慮し、投稿規定ならびに執筆要領の「倫理的配慮」について改定したい旨、提案があった。参考資料として他の栄養関連学会の投稿規定等が配付された。本学会支部会が実施する「実践栄養学研究セミナー」でも「倫理的配慮」についての問合せがある旨、発言があり、審議の結果、この改定の主旨を承認した。投稿規定の改定は6月の編集委員会の議、7月の役付理事打合会の議を経て、8月の理事会に提案する予定を了承した。

【Ⅳ. 学術関連事項】

1. NP0第15期事業執行状況・・・5月18日現在の事業執行状況が配付資料により報告された。
2. 平成30年度功労賞・学会賞・奨励賞・・・5月19日の学会賞等選考委員会の報告を受け、平成30年度の受賞者を次のとおり決定した。

功労賞 上西一弘、酒井徹

学会賞 赤堀摩弥、小原仁

奨励賞 佐久間理英

3. 学会賞等選考基準の見直し・・・現在の学会賞、奨励賞の選考基準の中で、「実践活動分野」の奨励賞候補者の選考対象となる業績については、「栄養学雑誌で発表された論文」に代わって、「学術総会での筆頭発表5回」とすることが提案され、審議の結果、8月の理事会で「学会賞等に関する細則」を改定することを了承した。
4. 第65回学術総会準備状況・・・任期途中での新潟県知事の退任に伴い、名誉顧問は保留となっている旨、説明があった。5月21日現在の実行委員会名簿が配布された。一般演題は、当初の締切を延長した結果、636演題（日本語：628演題、英語：8演題）の登録があり、現在、査読を行っていることが報告された。
5. 第66回学術総会準備状況・・・会場、運営会社、実行委員（委員長・副委員長）、学術総会テーマ（「語り合おう！栄養学のこれからをin北陸」）、検討中の主な事項など、準備状況が配付され、これを了承した。名誉顧問および副会長が次のとおり承認された。

名誉顧問：押野榮司（第51回学術総会会長・日本栄養士会参与）、木戸康博（金沢学院大学教授）、清水瑠美子（第45回学術総会会長・福井県栄養士会）、鈴木和春（仁愛大学教授）

副会長：山本浩範（支部会選出理事・仁愛大学教授）

6. 第67回学術総会会長候補者の推薦・・・次の候補者を、評議員会・通常総会に推薦することを承認した。提案された会期については、一部の役員から発言があり、担当支部会に持ち帰って検討することとなった。

学術総会会長 山部秀子 天使大学教授・北海道栄養士会会長

会場 札幌市・札幌コンベンションセンター

担当支部会 北海道支部会

7. 「健康な食事・食環境」推進事業・・・メディア等の報道について資料が配付された。2018年は年2回の応募を行うことが報告され、これを了承した。
8. 食環境整備推進委員会の設置・・・国内の食環境整備に継続的かつ効率的に取り組むことを目的に、食環境整備推進委員会の常設について、配付資料により提案があり、これを承認した。承認された「食環境整備推進委員会に関する細則」は別紙のとおりである。
9. 日本給食経営管理学会共催事業「食品データベースに関する連絡・検討会」（仮称）の設置・・・わが国における食品データベースの利活用の状況と現状における問題点について、まずは日本給食経営管理学会と連絡・検討についての準備会を立ち上げたいことが、配付資料により提案があり、これを承認した。本学会の準備会のメンバーは、由田理事と瀧本理事が担当することを承認した。
10. 関連学協会等との連携・・・次の事業について対応したことが回覧資料により報告され、これを了承した。
 - (1) 文部科学省大学設置・学校法人審議会（大学設置分科会）栄養学専門委員会の設置・・・平成29年9月に本学会が世話人を務める日本栄養学学術連合と一般社団法人全国栄養士養成施設協会の連名で文部科学省文部科学省高等教育局長宛に、大学設置・学校法人審議会（大学設置分科会）への「栄養学専門委員会」設置の要望書を提出した経緯が説明され、平成29年11月7日の大学設置学校法人審議会 大学設置分科会で「栄養学専門委員会」の設置が決定されていた資料が配付された。
 - (2) 生活科学系コンソーシアム事業（第11回総会・第24回会議）への参加
 - (3) 特定非営利活動法人国際生命科学研究機構（ILSI Japan）「健康な食事研究会アドバイザリー委員・第8回栄養とエイジング国際会議プログラム委員」の就任
 - (4) 日本アミノ酸学会「第5回産官学連携シンポジウム」協賛
 - (5) 公益社団法人日本栄養士会「栄養の日・栄養週間2018」後援
 - (6) 「ICoFF2019、ICPH2019、ISNFF2019合同国際会議」後援
 - (7) 一般社団法人日本摂食障害協会「世界摂食障害アクションディ2018」後援
 - (8) 第三回国際シンポジウム「コメとグローバルヘルス」セカンド・サーキュラー
 - (9) 国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所「第8回アジア栄養ネットワークシンポジウム」事業報告
 - (10) 独立行政法人日本学術振興会「第15回（平成30年度）日本学術振興会賞受賞候補者の推薦」周知協力
 - (11) 一般財団法人東京顕微鏡院「遠山椿吉記念 食と環境の科学賞」周知協力
 - (12) 公益財団法人ロッテ財団「食と健康の分野における若手研究者対象の研究助成公募」周知協力

【V. 広報関連事項】

1. ホームページ事業・・・会員専用ページに掲載する支部会事業の動画配信について、録画方法が配付資料により紹介された。動画配信に協力できる支部会は、事前に申し出ていただいた旨、酒井広報担当理事から発言があり、これを了承した。2月8日から5月23日までの更新情

報が配付資料により報告された。

2. JSNDメールニュース事業・・・配信状況、「役員からの一言」担当一覧など、配付資料により報告された。また受信トラブルについても報告があり、これの対応について了承した。

【VI. 国際関連事項】

1. 栄養学雑誌サプリメント「日本と海外の学校給食」・・・栄養学雑誌76巻3号との同時発送を目指し、組版・著者校正を行っていることが説明され、目次、編集委員、査読者が配布資料により報告された。また通常号と同様に、頒布について第一出版株式会社に依頼していることが補足された。サプリメントの表紙デザインが回覧された。
2. 栄養改善事業の国際展開プラットフォーム（NJPPP）事業・・・11月13日から17日に行ったインドネシア寄宿舎栄養改善プロジェクト給食ワークショップの報告書が回覧された。
3. IUNS-ICN2021・・・組織委員会名簿が配付された。2021年の本学会学術総会は第22回IUNS-ICNとの同時開催とし、前回理事会の議決のとおり、学術総会時における本学会の独自事業（①通常総会・学会賞等表彰式、②評議員会、③学会賞等受賞講演）は、別会場で開催すること（開催候補日・会場：9月14日・有楽町よみうりホールなど）、④支部長会議は同年8月の理事会に併催すること、⑤栄養相談コーナーは第22回IUNS-ICNの市民公開講座のプログラムの一つに組み込むことを第22回IUNS-ICN組織委員会に提案すること、を確認した。

【VII. 厚生労働省委託事業】

1. 平成30年度管理栄養士専門分野別人材育成事業 教育養成領域での人材育成・・・4月27日付で厚生労働大臣に提出した平成30年度管理栄養士専門分野別人材育成事業委託費の交付申請書が配布された。今年度は、①管理栄養士・栄養士養成と大学院教育における栄養学教育モデル・コア・カリキュラムを提示すること、②現行の栄養士法に基づき、管理栄養士のモデル・コア・カリキュラムは栄養士のそれを包含するものであること（厚生労働省に確認）、が説明され、これを了承した。

【VIII. 支部会活動】

1. 支部長会議の開催準備・・・9月3日に新潟・朱鷺メッセで開催する支部長会議の概要が配布された。原案に、「法人格のあり方」の議事を追加し、これを承認した。①会議の開催予告を支部長に連絡すること、②その際に追加資料の希望や第65回学術総会で行われる「実践栄養学研究セミナーのワークショップ」を案内すること、③支部長会議には役付理事も参加すること、を確認した。
2. 支部会活動報告
 - (1) 北海道支部会・・・第15回支部会学術総会は12月8日に札幌コンベンションセンターで市民公開講座、自由集会とともに開催する。
 - (2) 東北支部会・・・第4回支部会学術総会は鈴木秀子会津大学短期大学部准教授を学術総会会長とし、6月23日～24日に福島テルサで開催する、市民公開講座は7月28日に青森県立保健大学で開催することが、書面により報告があった。
 - (3) 関東・甲信越支部会・・・第5回支部会学術総会は岡純東京家政大学教授を学術総会会長とし、2月11日に東京家政大学で開催した。第6回支部会学術総会は木村典代高崎健康福祉大学教授を担当幹事とし3月10日に高崎市シティギャラリーで開催する。実践栄養学研究セミナーは荒井裕介千葉県立保健福祉大学准教授を担当幹事とし、10月から4回コースで計画している。市民公開講座は田中弘之東京家政学院大学教授を担当幹事とし、10月に予定している。

- (4) 東海支部会・・・第7回支部会学術総会は栗木清典静岡県立大学教授を学術総会会長とし、6月10日にウインクあいちで、市民公開講座とともに開催する。第8回支部会学術総会は森圭子愛知学院大学教授を学術総会会長とし、2019年6月9日にウインクあいちで市民公開講座とともに開催する。実践栄養学研究セミナーは今期のフォローの年に位置づけ、調査研究を継続している今期の参加者を対象に、研修会を予定している。
- (5) 近畿支部会・・・第17回支部会学術総会は桑島千栄京都光華女子大学准教授を学術総会会長とし、3月10日に京都光華女子大学で開催する。実践栄養学研究セミナー（ステップ1）は、日本栄養・食糧学会近畿支部会共催事業とし、7月14日、10月6日、12月1日の3回コースで開催する。
- (6) 中国支部会・・・第14回支部会学術総会は小野章史川崎医療福祉大学教授を学術総会会長とし、6月10日に川崎医療福祉大学で開催する。第15回支部会学術総会は2019年6月開催の方向で検討している。
- (7) 四国支部会・・・第5回支部会学術総会は稲井玲子高知県立大学教授を学術総会会長とし、6月30日に高知県立大学で市民公開講座とともに開催する。木戸康博金沢学院大学教授の特別講演を、学会ホームページ用に録画する予定である。第6回支部会学術総会は宮本賢一徳島大学大学院教授を学術総会会長とし企画している。
- (8) 九州・沖縄支部会・・・11月25日の支部会総会で藤井康弘別府大学教授が支部長に選出された。第6回支部会学術総会は叶内宏明鹿児島大学准教授を学術総会会長とし、2019年5～6月に予定している。

【IX. NPO第16期事業計画案及び予算案】

1. NPO第16期事業計画案及び予算案の骨子・・・新規事業の概要と予算案が配付された。平成30年度からの会費の改定に伴い、事業別損益計算書に計上する会費の按分案が提案され、審議の結果、原案を承認した。会費改定初年度の予算として、より適正な事業費の計上と、節約に努めた管理費の計上に、理事会として尽力することを合意した。

〔会費の按分〕

正会員（7,000円）：学術総会・学術総会展示事業費：600円、地方支部会学術総会事業費：400円、学会誌刊行事業費：2,000円、管理費：4,000円
学生会員（2,500円）：学会誌刊行事業費：2,000円、管理費：500円

以上